

UD505 Special、NT505 Special とベストマッチするパワーアンプ



AB AP505 Special

希望小売価格 ¥185,000(税別)

ノーマルモデルからのバージョンアップ

¥75,000(税別)

コンプリートパッケージ

希望小売価格 ¥188,000(税別)

コンプリートパッケージは、高音質電源ケーブル CPSC-KDK/2.0mがセットになったお買い得パッケージです。

小型軽量アンプ・でも重量級アンプ並のパフォーマンスを発揮



AB AX505 Special

希望小売価格 ¥195,000(税別)

ノーマルモデルからのバージョンアップ

¥85,000(税別)

コンプリートパッケージ

希望小売価格 ¥198,000(税別)

コンプリートパッケージは、高音質電源ケーブル CPSC-KDK/2.0mがセットになったお買い得パッケージです。

小型軽量でも重量級アンプに匹敵するパフォーマンスを発揮します

筐体はコンパクトながら、最大出力 130W (4Ω) /90W (8Ω) の本格的な D 級パワーアンプを搭載するこの 2 モデルのカスタマイズは、「電源回路の強化」からスタートしました。パワーアンプに使われる電解コンデンサーを強度と音質に優れた製品に入れ替え、さらにスイッチング回路の高周波ノイズが他の回路に回り込まないように、簡単なノイズフィルターを追加しました。この改良により全帯域での S/N が大きく改善すると共に、微小信号の解像度が向上し、ノーマルモデルに比べて透明感ときめ細やかさ滑らかさが格段に向上しました。また、音の広がりや定位感も大きく向上しています。

次にプリアンプ部の電源を強化し、信号経路に高音質電解コンデンサーを追加しました。本来は交換するところですが、面実装のパーツを取り外して交換すると基板を損傷する恐れがあるため、元々のコンデンサーと並列に高音質コンデンサーを追加して音質をチェックしたところ、交換するのほとんど変わらない音質改善が実現したので、この二つの製品ではあえて交換せず追加としています。この改良により、音の色彩感と表現力が大きく向上しました。

完成した二つのアンプは、小型軽量のボディーから出ているとは思えないほどのワイドレンジで高密度なサウンドを発揮し、音質チェックに使った 200 万円のスピーカー「Vienna Acoustics Liszt」を過不足なく鳴らし切ったのです。もちろん、さらに高価なアンプを使えば Liszt からはもっと良い音が出ますが、少なくとも「アンプが力不足」とは感じられない納得できる音質が実現しました。

パワーアンプ「AP505 Special」とプリメインアンプ「AX 505 Special」の違い

AIRBOW モデルの製作はまず、AP505 Special から開始しました。AIRBOW カスタムモデルは、marantz 系のモデルが「濃密な音質」で TEAC 系のモデルは「さっぱりした音質」と味わいを分けています。しかし、NT/UD505 Special にはもう少し「濃密さが欲しい」と感じるがありましたので、出来れば AP505 Special との組み合わせでそれが実現できないかと考えました。

音質のチェックは、AIRBOW ミュージック PC と UD505 Special USB 接続し、RCA 音量可変出力モードで AP505 Special に接続、ランダムにあらゆるジャンルの音楽を聴きました、ノーマルの状態では、「ワイドレンジで低音も良く出るけれど、どこかカサカサする質感が足りない音」というイメージでした。改良はブロック別に分けて行います。まず、パワーアンプの改良が完了した時点で「パワー感と滑らかさ」は大きく向上し、30 万円クラスのプリメインアンプに匹敵するくらいまで音質が向上しました。しかし、まだ「色つや」がすこし足りないので、プリアンプ部分の電源と信号経路を改良すると、国産の 40 万円クラスのアナログプリメインアンプに十分匹敵するくらいのきめ細やかさと、色彩感の向上が実現しました。そのまま長時間エイジングと試聴を続け、最終的に電磁波対策などの細かな改善を追加することで、Accuphase や Luxman の中堅クラスのプリメインアンプとほぼ同等の音質にまで仕上げることが出来たのです。

AP505 Special の「画期的で発明にも等しい」ほどの大成功に気をよくして、AX505 Special に同じメニューの改良を加えましたが、残念ながら AX505 は「音量調節と入力切り替え用に IC が 1 個搭載されている」、「スペースの関係でプリアンプ回路の電源が小規模になっている」、「AP505 は金属製の脚、AX505 はプラスチック脚を採用」するなど AP505 と異なる構造が災いして、音質は十分に良いものになりましたが、AP505 Special から比べると 80% 程度の音質にならざるを得ませんでした。NT/UD505 Special との組み合わせで「入力数」に問題がなく、音質優先でお考えなら AP505 Special をお選び下さい。価格やサイズを超える、AIRBOW ならではの圧巻の高音質を実感していただけたと思います。

もちろん、AX505 Special も AP505 Special には若干及びませんが、同価格帯の大型プリメインアンプを明らかに凌駕する高音質に仕上がっていますので、ご安心下さい。

※仕上げ美しいシルバー、精悍なブラックから、お選びいただけます。

ノーマルモデルからのカスタムチューン

逸品館以外のお店や中古で TEAC 505 シリーズを購入された場合、追加費用のお支払いで AIRBOW モデルへのチューンナップを承ります。ノーマルからのチューンナップでも、純正の AIRBOW 製品と変わらぬ性能を発揮しますが、AIRBOW モデルを新品でご購入の場合に付いている「24 ヶ月修理保証」と「1 ヶ月満足度保証」は附属しません。改造によって故障発生の頻度が増えることはありませんが、万一改造後発生した故障につきましては、改造前の製品がまだメーカー保証中であつたとしても保証はなくなり、有償修理となりますのであらかじめご了承の程お願い申し上げます。※一部対象外のモデルもございます。

AX505 Special

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 定格出力 : 70W×2 (8Ω) 、 115W×2 (4Ω) 1 系統● ヘッドホン出力 : 4 極ミニジャック×1● アナログ入力 : RCA× 3、 XLR× 1 | <ul style="list-style-type: none">● 消費電力 : 55W● 寸法/重量 : 290(W)×81.2(H)×264(D)mm /4.2 kg |
|--|--|

AP505 Special

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 最大出力 : 90W×2 (8Ω) 、 130W×2 (4Ω) 1 系統● ヘッドホン出力 : なし● アナログ入力 : RCA× 3、 XLR× 1 | <ul style="list-style-type: none">● 消費電力 : 106W● 寸法/重量 : 290(W)×84.5(H)×271(D)mm /4.4 kg |
|---|---|